

船舶事故等調査報告書

平成22年2月25日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009神第359号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成21年8月19日 18時30分ごろ	
発生場所	和歌山県日高港	
事故等調査の経過	平成21年11月26日、本事故の調査を担当する主管調査官（神戸事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	A 押船 第二栄勢丸、101トン 134149、有限会社大勢海運 B 台船 栄勢、563トン J13546、有限会社大勢海運及び独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構の共有	
乗組員等に関する情報	A 船長、五級海技士（航海） B なし	
死傷者等	なし	
損傷	A 推進器翼に曲損 B なし	
事故等の経過	A船は、船長ほか3人が乗り組み、空船のB船を押して日高港において着岸作業中、平成21年8月19日18時30分ごろ、A船の船尾船底付近に突然衝撃を受けた。	
気象・海象	気象：晴れ、風向 西、風力 1 海象：潮汐 高潮	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし なし A船は、B船を押して日高港において着岸作業中、浅瀬があることを知っていたが、操船を適切に行わなかった可能性があると考えられる。
原因	本事故は、A船が、B船を押して日高港において着岸作業中、操船を適切に行わなかったため、A船が浅瀬に乗り揚げたことにより発生した可能性があると考えられる。	